

「地域のちからを発揮予算」

平成30年度予算の概要



重点施策③ 地域総合力の発揮



重点施策② しごとづくり



重点施策① 健幸づくり

3月定例市議会では、大西市長が平成30年度施政方針を表明し、予算編成にあたっての理念や主要な施策を説明しました。今回はその中から、予算と主要な施策の概要を抜粋して紹介します。

「健幸」や「しごと」へつなぐ、「地域総合力」の発揮を

本市では、喫緊の課題である人口減少に立ち向かい、所得向上と雇用創出により地域経済の再生を図るため、全国に先駆けて「ながと成長戦略」の事業に取り組んできました。国の地方創生の取組と相まって、これまで蒔いた種は着実に成長を遂げ、いよいよ蕾となり、花を咲かせようとしています。そのような中、平成30年度は、本市にとって未来を左右する重要な年となるものと考えております。

市民や事業者の皆様との協働のもと、「ながと成長戦略」をさらに深化させ、点から線へ、さらには面へと、まちづくりを着実に進め、「成長への期待」を「成長の実感」に変えること

により、生涯暮らし続けたいと思える「新たな長門市の創造」へ一歩前進できるものと確信しております。

これらを実現するため、私は、3つの重点課題のもと、新たに政策形成を行うためのサマリーレビューや政策フェーズを実施し、平成30年度の予算の編成作業に取り組んでまいりました。

まず1点目に、市民の皆様が健やかに暮らすことで幸せを感じられる『健幸づくり』、2点目に、職場産業が活躍し、まちに活力を生み出す『しごとづくり』、そして3点目に、市民や関係団体等が丸となった市民協働によるまちづくりを進めるための『地域総合力の発揮』、この3項目を重点施策とし、「選択と集中」を徹底した『地域のちから発揮予算』を編成したところでございます。

「オールながと」で新たな成長に挑む1年に

平成30年度予算は、「オールながと」の視点で新たな成長に挑む「地域のちから発揮予算」と位置付け、「ながと成長戦略」の取組をはじめ、今生まれ始めている成果を持続させるとともに、これまで積み重ねてきた経験や人材など、長門の「ちから」を駆使して「全国に誇れるまち」を実現していきます。

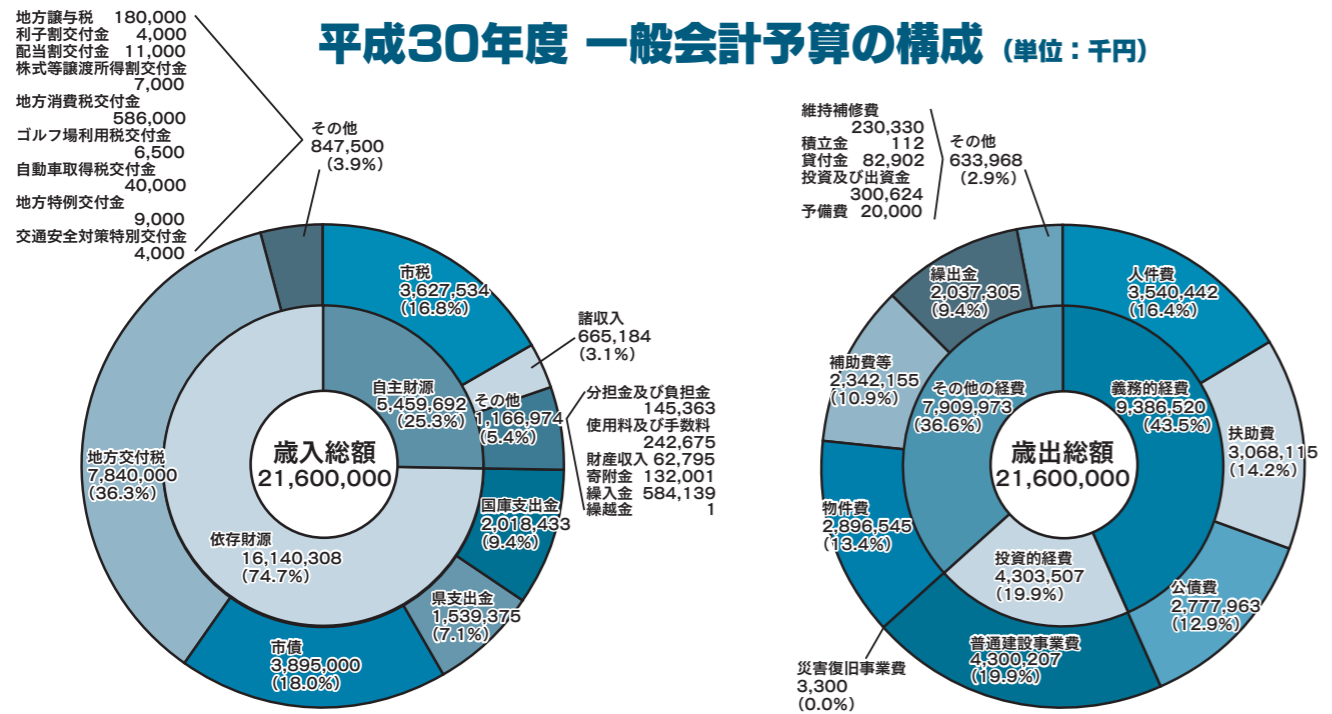
本格的な工事着工などで前年度比9,800万円の増

公営企業会計を除いた予算規模は315億2,700万円で、前年度比9,800万円(0.3%)の増となりました。

一般会計では、センザキツチンの建設を行う「仙崎地区グラウンドデザイン整備事業」や、昨年10月に指定管理に移した「ケーブルテレビ放送費」、俵山多目的交流広場の再整備を行う「俵山地域スポーツ活性化事業」などが減となりましたが、平成30年度に本格的に工事が始まる「本庁舎建設事業」や「長門湯本温泉観光まちづくり整備事業」、「日置保育園建設事業」などの増により、前年度比12億8,000万円(6.3%)の増となりました。

■予算についての問い合わせ
財政課財政係 TEL 23・1254

平成30年度 一般会計予算の構成 (単位：千円)



会計別	予算額 (単位：千円)	前年度予算額 (単位：千円)	増減額 (単位：千円)	増減率 (単位：%)
一般会計	21,600,000	20,320,000	1,280,000	6.3
特別会計	9,926,741	11,108,709	▲ 1,181,968	▲ 10.6
国民健康保険事業	5,078,617	6,056,343	▲ 977,726	▲ 16.1
湯本温泉事業	178,248	110,171	68,077	61.8
介護保険事業	3,943,546	4,084,562	▲ 141,016	▲ 3.5
電気通信事業	—	156,101	▲ 156,101	皆減
後期高齢者医療事業	726,330	701,532	24,798	3.5
公営企業会計				
水道事業				
収益的収入	732,755	745,365	▲ 12,610	▲ 1.7
収益的支出	689,427	714,138	▲ 24,711	▲ 3.5
資本的収入	211,046	189,364	21,682	11.4
資本的支出	540,552	518,058	22,494	4.3
下水道事業				
収益的収入	1,742,398	1,720,130	22,268	1.3
収益的支出	1,716,494	1,673,528	42,966	2.6
資本的収入	951,426	910,844	40,582	4.5
資本的支出	1,385,653	1,333,187	52,466	3.9

国・県との連携を密に、人口減少に立ち向かう

先日開会した通常国会において、安倍総理は「日本は、少子高齢化という『国難』とも呼ぶべき危機に直面している。しかし、この壁も必ず乗り越えることができる。今こそ新たな国づくりの時」と示され、「働き方改革」の断行に加え「人づくり革命」として、全世代型社会保障の実現や教育の無償化、多様な学びの推進、「農林水産新時代」として第一次産業の改革を力強く推し進めよう」とされております。県においても、村岡知事のもと、県民誰もがはつらつと暮らせる「活力みなぎる山口県」の実現を目指し、人口減少問題に真正面から挑み、人口の流出や少子化を食い止めようと各施策を展開されております。

依然として看過できない状況にある本市の現状を打破するためにも、国の施策を積極的に活用するとともに、県とより密接な連携を図ってまいります。



3つの重点施策

まちの将来を支える

「健康」づくり

子育て世代を中心とした若者を呼び込み、誰もが生涯「健康」で暮らせるまちの実現に向けて、健康づくりの取組を中心に、地域で安心して生活ができる環境づくり、保育園の整備や障害児支援体制の充実などを図ります。

重点取組予算額 38億6,634万円

健康づくり推進事業

ラジオ体操で健康なまちづくり事業
予算額：72万円

市内行事での実践やPR動画の制作などを通してラジオ体操の普及に取り組み、市民の健康意識向上を図る。

ウォーキング推進事業(14万円)

健康づくりポイント事業(38万円)
ほか



健康に暮らせる環境づくり

健康に暮らせる地域づくり支援事業
予算額：1,655万円
市内7エリアで福祉・健康事業を推進する「地域福祉エリア支援員」を配置。

健康住宅推進事業

予算額：950万円
断熱性に優れた健康住宅を普及させるため、リフォーム工事を行った人に對し市内で使用できる商品券を配布。



子育て環境の整備

日置保育園建設事業

予算額：3億8,607万円
市役所日置支所旧庁舎の跡地に、子育て支援・地域ボランティア拠点施設と一体的な日置保育園園舎を整備。

児童発達支援センター設置事業

予算額：679万円
現在の児童デイ・ケアセンターを改修し、障害児の通所利用や支援者の育成などに活用する中核施設を設置。

協働のまちづくりを進める「地域総合力」

きめ細かなまちづくりは、行政だけでなく市民・市民活動団体・事業者などが一体となって取り組むことが必要です。連携して「健康」「しごと」づくりに取り組み、また協働の基盤となるコミュニティの再生や地域の担い手となる地域おこし協力隊の設置、移住希望者の受入体制の充実を図ります。

重点取組予算額 2億544万円

移住・定住の促進

定住促進対策事業

予算額：1,095万円
定住支援員を配置し、移住希望者へ空き家情報の提供や相談支援を実施。本市の移住をけん引する向津具地区では、新たに「お試し暮らし施設」を整備するほか、地域と移住希望者をつなぐ「移住コーディネーター(仮称)」を配置し、受入体制の充実を図る。



集落機能を再生

集落機能再生事業

予算額：2,903万円
地域の課題を把握・解決する組織として地域づくり協議会の設立を推進し、活動を支援することで、弱体化しつつある集落機能の再生を図る。
・地域づくり協議会の活動助成
・全協議会に集落支援員を配置
・地域づくりリーダー養成事業



地域おこし協力隊の設置

地域おこし協力隊設置事業

予算額：4,013万円
地域外の人材を誘致し、地域特性に合った活動で活性化を図り、任期を迎える定住希望の隊員へ起業支援も実施。

《隊員の配置状況》

・俵山・仙崎・三隅・宇津賀地区 各1人
・向津具地区 2人
・観光・木育事業 各1人
※三隅・向津具地区の隊員3人は平成30年8月に任期満了、平成30年度は新たに3人を配置予定

ながと成長戦略の深化による「デジタル」へ

誰もが元気に働いていけるまちの創造に向けて、平成30年度からスタートする「第2次ながと成長戦略行動計画」に基づき、長門湯本温泉の再生や三隅地区の工場誘致、「ひと」と「しごと」のマッチングや木育の推進など、これまでの事業を着実に成果に結びつけます。

重点取組予算額 21億4,526万円

地場産業と人をつなぐ

「ひと」と「しごと」のハブ構築による地域未来創造事業
予算額：6,489万円

生産年齢人口の定着と地場産業の育成を図るため、地場産業の魅力や情報と人をつなぐハブ機能を形成する。
・キャリア教育の推進
・市内企業の魅力向上支援
・マッチングイベントの開催
・地域しごとセンター(仮称)の整備



林業振興と木育推進

林業成長産業化地域創出モデル事業

予算額：638万円
森林資源の循環利用システムや林業の担い手育成システムなどの構築により、林業の成長産業化を図る。

木育推進事業

予算額：461万円
長門おもちゃ美術館を拠点に、新生児への誕生祝い品の贈呈や、木育キャラバン、木育円卓会議、ワークシヨップの開催など木育の取組を推進する。



農業の担い手確保

長門市農業振興公社(仮称)推進事業

予算額：10万円
担い手機能と担い手育成機能を持つ第3セクター方式の農業公社を設立し、農地の荒廃を防ぐ。平成30年度は先進地視察や研究・調査を進める。

長門湯本温泉の再生

長門湯本温泉観光まちづくり推進事業
予算額：9,777万円
調和の取れた開発や、開発後の民間主体の観光地経営を進めるため、分野の専門家により事業の推進を図る。

長門湯本温泉観光まちづくり整備事業

予算額：3億9,903万円
計画に基づき、ハード部分の整備を実施する。
・駐車場部分の造成、南スロープの整備
・竹林の路整備(一部造成・無電柱化)
・市道美装化工事・設計
・礼湯の解体撤去

湯本温泉活性化事業用地整備事業

予算額：9,233万円
民間事業者の参入に向けて、恩湯周辺のメインエリアの造成工事を実施。

湯本温泉配湯タンク整備事業

予算額：9,484万円
旧配湯センター跡地に湯本温泉3号タンクを整備。



地域経済の活性化

三隅地区工場用地整備事業

予算額：1億1,707万円
三隅地区への工場誘致に必要となる連絡道路の整備などを実施。

ながと戦略的産業支援事業

予算額：1,024万円
市内のにぎわいを再生する民間主導型の事業を募集し、補助金を交付する。

創業等支援事業

予算額：1,918万円
新たに創業を行う事業者に対して経費の一部を補助。また、地域ぐるみで創業者を応援する仕組みを構築する。

観光事業の強化

地域商社とデジタル発信・検証によるローカルブランディング事業

予算額：600万円
デジタルマーケティングの手法による戦略的情報発信・検証で、効果的な宣伝や商品開発、販路開拓につなげる。



基本目標の達成に向けた取組

第2次長門市総合計画に掲げる7つの基本目標のうち、まちづくりをけん引する3項目は重点施策（4～5ページ参照）として積極的に挑戦することとしています。残りの4項目の達成に向けても、着実に推進していきます。

安全で安心して住めるまちづくり

住民が不安なく安全に生活できるように、防災活動の拠点となる市役所本庁舎の建替や、自主防災組織の活動促進など地域防災力の向上を図ります。

■本庁舎建設事業

予算額：19億6,990万円

平成31年10月の供用開始に向けて、昨年度に着手した建築工事・機械設備工事・電気設備工事を着実に推進する。



■自主防災組織育成事業

予算額：142万円

自主防災組織設立時の経費を補助するとともに、平成30年度は2地区をモデル地区として、図上訓練などの防災ワークショップや実働訓練を実施。



■ため池改修事業

予算額：1,560万円

下流にある住宅や公共施設への決壊時の被害を未然に防ぐため、深川湯本の鴨ヶ浴1ため池と油谷後畑の深田ため池の改修工事を実施する。

■消防施設等整備事業

予算額：5,868万円

地域の消防防災の中核的存在である消防団の車両や機庫などを計画的に更新整備し、防災力の維持強化を図る。



自然と共生し、快適なまちづくり

人口減少や少子高齢化が進む中で、生活しやすい環境を整えるため、公共交通の利便性向上や、生活道路網・住環境の整備を推進します。

■地域公共交通推進事業

予算額：797万円

共通時刻表の作成やバス路線案内サインの設置（長門市駅）、デマンド型乗合タクシーの運行費補助を実施。



■道路橋梁新設改良費

予算額：2億6,892万円

生活環境の改善と利便性の向上を図るため、市道の改良工事を実施。



■景観計画策定事業

予算額：570万円

市内全域を対象に、景観形成の方針や基準、行為の制限などを定めた景観計画を策定する。



■公営住宅ストック総合改善事業

予算額：1,254万円

老朽化の進む市営住宅の外壁などの改修を実施。平成30年度は仙崎B棟、上川西B・C・D棟の実施設計を行う。

■農業集落排水施設機能診断事業

予算額：1,440万円

農業集落排水施設の長寿命化・機能保全により、水質保全や生活環境の維持につなげるため、機能診断を実施。



歴史・文化を継承し、輝く人を育むまちづくり

地域に愛着を持ち、社会で活躍できる人材を育てるため、地域スポーツの振興や郷土の歴史・文化の継承を行うとともに、国際交流事業を通じて子どもたちに「世界を知り、世界への夢」を描く機会を提供します。

■ラグビーワールドカップ2019長門市キャンプ招致事業

予算額：967万円

キャンプ地の引き受けに向け、チーム関係者の視察の受け入れや、食のサポート体制の充実、ボランティアの養成を行う。

■俵山地域スポーツ交流活性化事業

予算額：3億6,408万円

俵山多目的交流広場にクラブハウス（平成30年8月供用開始予定）・観客席・ゴールポストなどを整備する。



■ソチ市国際交流事業

予算額：722万円

姉妹都市提携の合意に向け、地域間交流を促進する。山口県との共催で日露交歓コンサートの開催を予定。

■外国語指導助手導入事業

予算額：2,266万円

外国語指導助手を市内全小中学校に派遣し、語学力の向上と国際交流活動への理解を深める。



■教員業務アシスタント・地域連携アシスタント設置事業

予算額：483万円

アシスタントを配置し、教員の働き方改革の推進、コミュニティ・スクールや地域協育ネットの充実を図る。

■学校施設改修事業

予算額：1億2,566万円

老朽化した設備の改修として、平成30年度は向陽小学校トイレ・菱海中学校屋内運動場屋根の改修を行う。

■明治維新150年記念事業

予算額：239万円

村田清風と明治維新に関する歴史講演会や記念ウォークを開催。



■スポーツイベント開催事業

予算額：791万円

豊かな自然を生かしたスポーツイベントとして「第2回JAL向津具ダブルマラソン（6月10日開催予定）」や「ながとブルーオーシャンライド（平成30年秋開催予定）」を実施。



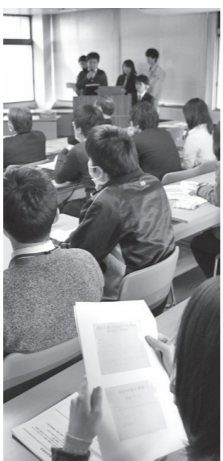
効率的で効果的な行財政運営

第4次長門市経営改革プランに基づき、行政コストの削減や、市民目線のきめ細やかなサービスの提供など、量と質の両面で改革に取り組みます。

■職員研修事業

予算額：1,009万円

他の自治体への派遣、各種財団や消防大学校が実施する研修への参加を通じて、市民サービスの質の向上を図る。



■公共施設等解体撤去事業

予算額：8,622万円

老朽化した旧伊上保育園、旧津黄高齢者センター、旧大畑小学校、通市営住宅を解体撤去する。

